

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立千鳥小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「毎日の生活を見つめてみよう」「生活時間をマネジメント」では、生活を支える家族の仕事にはどのような種類があるのかを知り、自分の生活時間を見直したり、家族に協力したりすることができた。(5・6年)
- ・「クッキングはじめの一步」「できることを増やしてクッキング」では、調理の手順や加熱用調理器具の安全な取り扱い方を知り、野菜を切ったり炒めたりすることができた。(5年・6年)
- ・「ソーイングはじめの一步」では、手縫いの基礎を学び、小物作りができた。(5年)
- ・「クリーン作戦で快適に」では、場所ごとの汚れの種類や特徴を調べ、まとめることができた。(6年)

(2) 課題

- ・手縫いや調理の技能の差が大きい。声掛け、家庭・地域の協力が必要である。(5・6年)
- ・裁縫道具の扱い方や管理が不十分な児童もいたため、用具を正しく準備したり片付けたりする経験の積み重ねが必要である。(5年)

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活経験の中から、具体的な場面を想起させながら、知識を正しく身に付けられるようにする。 ・調理、裁縫などの基礎的な技能を定着させるために、デジタル教科書や実物投影機など ICT 機器を活用し、分かりやすい指導を行う。 ・調理実習では、自分たちで準備したり、作業人数を少なくして実習したりすることで、活動の振り返りを実感の伴ったものにする。出来上がった調理は、タブレット端末で記録し、今後の振り返りに生かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習では、準備に必要なものを考えさせる授業展開を取り入れ、見通しをもちながら作業が進められるようにする。 ・児童の身近にある題材や生活課題を学習課題に取り入れることで、学習のねらいを明確にする。 ・課題解決にあたって、自分の考えを明確にしたり深めたりするために、意見交流する場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの单元でも意欲的に学習に取り組むことができるので、学習したことを家庭で実践した際は、保護者の方からコメントをいただき、家族の一員として役立っていることに気付かせる。 ・グループ活動での役割を児童に話し合わせて決定させることで、主体的・協働的に取り組めるようにする。